

PROMTモードによる 分析時間の短縮

Agilent フレーム原子吸光



精度を優先して、 高速フレーム原子吸光を実現

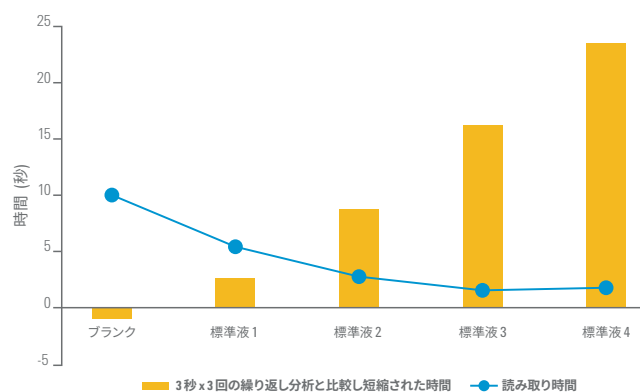
アジレントの 240FS AA および 280FS AA フレーム原子吸光分光光度計は、PROMT モードにより、分析結果に対して求められる精度 (%RSD) を設定することが可能です。高濃度の元素は低濃度の元素よりも短い読み取り時間で測定し、同じレベルの精度を実現。サンプル分析時間を最適化します。

PROMT モードの特長

- 特に高濃度のサンプルに対し、従来のフレーム原子吸光と比較し生産性が向上。より多くの試料を測定可能
- ガス消費量が減少することにより、ランニングコストを削減
- ファーストシーケンシャル (FS) 法と組み合わせることにより、分析時間がさらに短縮。ガス消費量と分析時間を 60% 以上コスト削減

ソリューション	濃度 (ppm)	Abs	読み取り時間 (秒)	RSD (%)	短縮時間 (秒)
ブランク	0	0.0015	10	4.6	-1
標準液 1	0.25	0.0230	5.4	0.5	2.6
標準液 2	0.5	0.0474	2.8	0.5	8.8
標準液 3	0.75	0.0703	1.6	0.5	16.2
標準液 4	1	0.0910	1.8	0.5	23.4

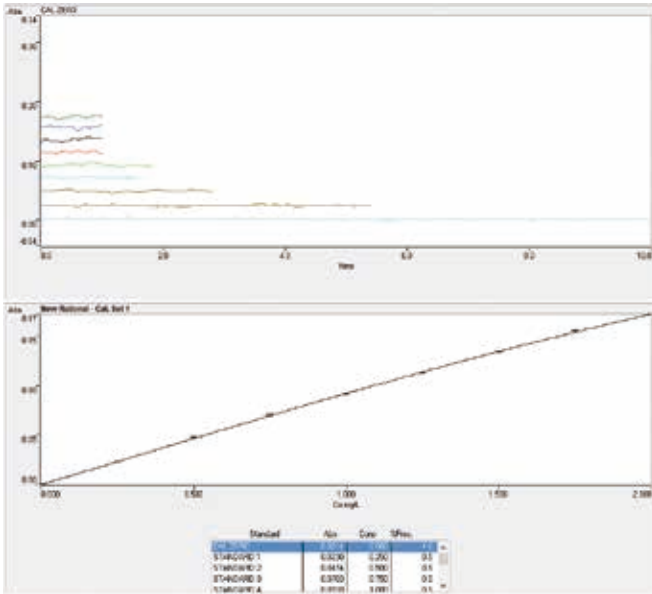
3 秒 x 3 回の繰り返し分析と比較し短縮された時間



例: PROMT モードにより RSD 0.5% の設定で、波長 324.8 nm で 5 つのサンプル中の Cu を測定。3 秒 x 3 回の測定比較し、各サンプルに対する分析時間は半分以下に短縮されました。



Agilent Technologies



この例の場合、積分時間の上限は 10 秒で、標準液とサンプルの精度はともに RSD 0.5% に設定しました。濃度が低すぎて精度が達成されない場合、ソフトウェアによって 10 秒間にわたり平均化されました。信号表 (上) が示しているとおおり、高濃度の標準液はより短い時間で要求された RSD を達成しています。

ホームページ
www.agilent.com/chem/jp
 カスタムコンタクトセンター
0120-477-111
email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っていません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
 © Agilent Technologies, Inc. 2017
 Printed in Japan, May 1, 2017
 5991-8068JAJP